



2022年5月13日

各 位

会 社 名 K T C (京都機械工具株式会社)

代表者名 代表取締役社長 田中 滋

(コード 5966 東証スタンダード)

問合せ先 経営統括部長 大橋 博

(TEL 0774-46-3700)

長期ビジョン「KTC vision 2030」策定に関するお知らせ

KTCグループ長期ビジョン「KTC vision 2030」について公表いたしましたのでお知らせいたします。
詳細については添付資料をご参照ください。

以 上



1.2030年 何をめざすのか

社会の期待を超えたツールで、人の能力を拡張し、世の中の安全を創り出す

2.なぜめざすのか

加速度を増す変革のなか、人の暮らす環境や働く環境はより快適になり、能率・効率を実現した社会が形成されています。地球温暖化による自然環境の変化や少子高齢化による国内労働力の多様化などにより、KTCを取り巻く経営環境も現在とは大きく異なっています。これまで通りに工具を創ることでこれからの未来を生き抜くことができるのでしょうか。時代の変革にあわせてKTCの工具に対する考え方も進化させていく必要があります。

これまでのKTCは、「安全、快適、能率・効率」を目指した工具を創り社会に貢献してきました。しかし、そこには確かな技術(腕)を持ったお客様の存在があり、お客様の知識や経験によって工具が最適化されることでKTCの社会貢献が支えられていました。つまり、人によって工具が支えられていたという側面があるのです。

これからのKTCは、「ツールで人の能力拡張」に寄与していきます。「人が工具を支えるだけでなく、従来の工具にソフトやサービスを含めたツールで、人の出来ることを増やしていく」という視点を重視します。例えば「非力な人の作業を補う」ことや「知識・経験のある作業を誰もが正確に再現できる」ことなどにより、お客様の作業範囲を広げることができます。ツールを通じて「環境」を中心とした新たな「安全、快適、能率・効率」を実現し、社会に貢献してまいります。

3.どのようにめざすのか

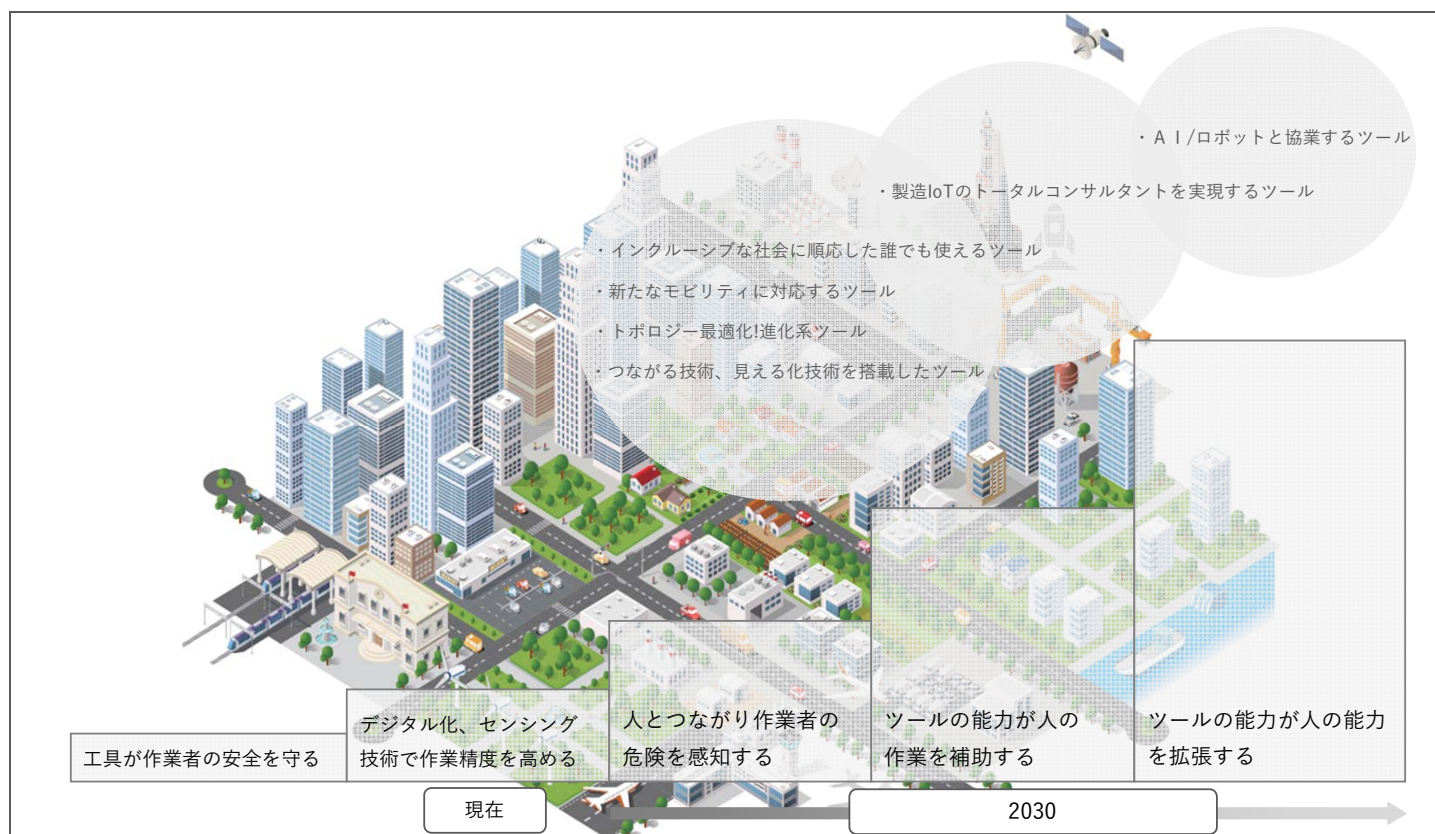
- 今までの概念を覆す -	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブな社会に順応した誰でも使えるツール ・新たなモビリティに対応するツール ・トポロジー最適化!進化系ツール
- リーディングカンパニーの 伝統を活かす -	<ul style="list-style-type: none"> ・製造IoTのトータルコンサルタントを実現するツール ・つながる技術、見える化技術を搭載したツール ・AI/ロボットと協業するツール
- あらたなチャンスに挑戦 -	<ul style="list-style-type: none"> ・モノづくりの人材育成を最前線で支援 ・保有技術のビジネス化 ・新たな領域へのトライ
- 地球に、社会に、私たちが できること -	<ul style="list-style-type: none"> ・E：地球環境に徹底的に貢献する ・S：あらゆるステークホルダと共生する ・G：持続可能な信頼される企業であり続ける

TRY

TOKOTON

TRASAS

4.社会をどうやって変えていくか



5.地球に、社会に、私たちができること

安全、快適、能率・効率な社会を共に創り上げるため、「環境（ENVIRONMENT）・社会（SOCIAL）・企業統治（GOVERNANCE）」の課題に対し、積極的に取り組んでいます。

環境（ENVIRONMENT）：地球環境に徹底的に貢献する

- ・ カーボンニュートラルへの取組
- ・ 地球資源の有効活用、廃棄物削減
- ・ マテリアルトレーサビリティ、環境負荷物質の排除

社会（SOCIAL）：あらゆるステークホルダと共生する

- ・ お客様の期待を超える安全の提供
- ・ 従業員の健康と安全（健全）、働きがい（健幸）の確保
- ・ 良き企業市民としての地域社会への貢献

企業統治（GOVERNANCE）：持続可能な信頼される企業であり続ける

- ・ 経営基盤、持続的成長 企業理念の浸透
- ・ コンプライアンスの徹底
- ・ リスクマネジメントの徹底
- ・ 企業情報の開示、ガバナンスの向上

6.わたしたち一人ひとりが変わることはなにか

わたしたちみんなが "KTCがあってよかった" と思える会社にする

- 共感できる -
みんなが積極的に
成長し合う

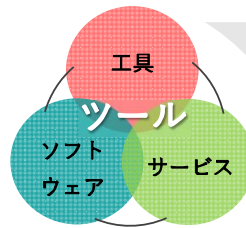
- 機会をつかむ -
固定観念にとらわれず
挑戦する

- 柔軟性をもつ -
"らしさ"をもちつつ
変化に適応する

7.目標値(73期-81期 連結)

- 業績目標 -
 - ・売上高 140億円
 - ・営業利益 10%以上継続確保
- ESG関連目標 -
 - ・温室効果ガス排出量 50%削減 (2013年度比)

8.「ツール」・「人の能力を拡張する」とは



- 人の能力を拡張する -
誰もが
今以上のことができる

以上